

～お互いの立場を理解しあえる社会の一員として。～

消費生活上のトラブルの相談は「188」へお電話ください。

私たちの周囲には、障害のある方、認知症や難聴を抱えている方、高齢の方など、多様な方がいます。そうした状況にある御本人やその御家族に、日常生活の中で気を配りましょう。

★ 店舗での商品購入には基本的に「クーリング・オフ」は適用できない、個人の自由や人権を不当に侵害する契約は無効になり得るなど、契約に関する基本的知識が、配慮の必要な方への気配りに役立つことも少なくありません。

成年年齢が引き下げられます。若い世代の方が消費者被害に遭わないよう、御家族の方などを含め、気を配りましょう。

★ SNSで誘われた投資話にのめり込む、先輩から紹介されたもうけ話を断りきれずに借金をする、友人の借金の保証人になる等により、トラブルに巻き込まれることもあります。雰囲気流されず、断ることも重要です。

※1 ひきこもり支援を目的として掲げる民間事業者との契約時等におけるトラブルに関する情報は以下を御覧ください。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/caution_009/

※2 「社会への扉」では、若年者向けに契約の基礎などを掲載しています。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/teaching_material/material_010/

※3 消費者庁では、消費者安全法の規定に基づく注意喚起を実施しています。若い世代の方にお読みいただきたい情報も多数掲載しています。2018年度の実績はこちら。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/release/2018/

令和元年の大規模災害の被災地にも冬が到来。。。
今なお、生活再建に苦心している地域もあります。

★ リフォームに関する悪質な勧誘、被災地支援をかたった義援金詐欺等について、引き続き留意しましょう。

★ 被災地のみならず、架空請求のハガキ、メール等についての相談は多数寄せられています。十分に注意しましょう。

※ 独立行政法人国民生活センターでは、架空請求についての情報や災害に便乗した悪質商法についての情報を幅広く掲載しています。

http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/twoshotto.html

http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/data/disaster.html

ゲーム等へののめり込みを防止するため、様々な取組が進んでいます。

*一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会、一般社団法人日本オンラインゲーム協会等では、ゲーム使用に関する実態把握のため、医学研究者等の専門家による調査研究の取組を進めています。

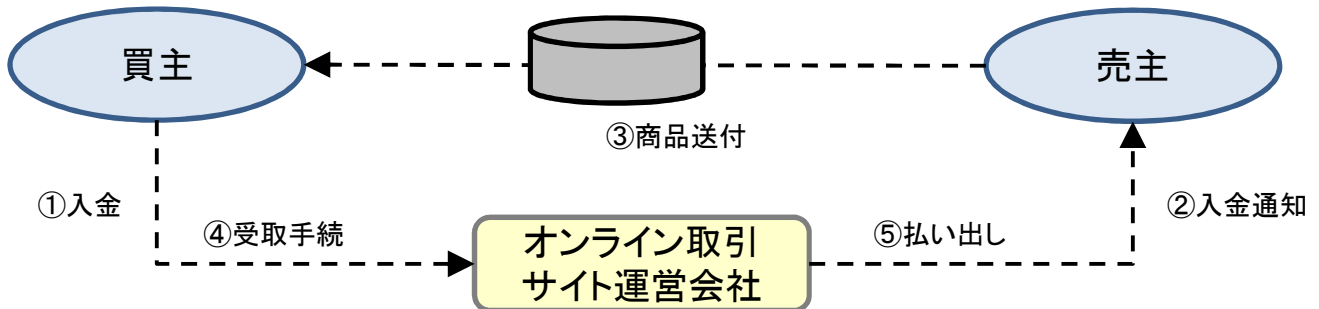
<https://www.cesa.or.jp/uploads/2019/info20191126.pdf>

*独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターから、「ネット・ゲーム使用と生活習慣についてのアンケート結果」が公表されました。<https://www.ncasa-japan.jp/docs>

オンライン上で商品を購入する際は、商品未着などにより、事後的に返品を求めるようなことにならないように注意しましょう。

- ★ 主なオンライン取引サイトでは、エスクローサービスが導入されています。一連の古文書など、散逸が防止されるべき物の取引などにおいても効果的ですので、導入の有無を事前に確認の上、サービスの利用を検討しましょう。

【エスクローサービス(売主と買主の間に運営会社が介在し、商品未着、代金未払等を防止する仕組み)の概要】



参考: 独立行政法人国民生活センター編集・発行「くらしの豆知識'20」

キャッシュレス決済を利用する際は、返済時の方法を事前に確認しましょう。

- ★ キャッシュレス決済の支払は、クレジットカードと紐づいている場合もあります。リボルビング払い(リボ払い)を選択すると、月々の支払額は一定額にとどまる一方、負担する手数料がかさむことがあります。自分が選んでいる支払の方法を事前に確認しましょう。

※ リボ払いは、気軽に利用を重ねると借金の増加を招く可能性があり、注意が必要です。

* リボルビング払い: クレジットカードの利用金額や件数にかかわらず、毎月一定の額や割合を支払うクレジットカードの支払方式

複雑な金融商品を契約する際は、契約の相手先や、詳細な契約内容を事前に確認しましょう。

- ★ バイナリーオプションは、非常にリスクの高い取引です。海外事業者と取引する際は、日本国内で事業活動ができる業者であるのかを事前に確認しましょう。
- ★ 外貨建の商品の場合、解約時などの返金が日本円でない場合もあります。こうしたケースでは、為替変動のリスクも存在することになります。
- ★ 少しでも理解しにくいことがあれば、契約前に金融機関の担当者から、十分に説明を受けるようにしましょう。

* バイナリーオプション: 取引期間内において為替相場等が上がるか下がるかを予想する取引